

# 三河・三重・静岡

## 自動車向け駆動部品の金型

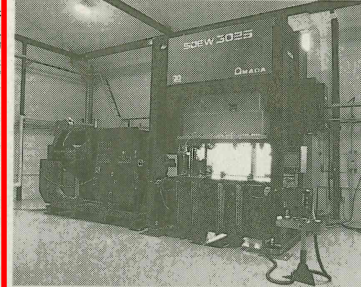
**一志精工電機**  
**冷間鍛造で製作へ**  
**設備導入し技術者育成**

配線部品加工や自動車部品の金型設計・製作を手掛ける、一志精工電機(本社 津市久居野村町、北角真一社長、電話059・255・2456)は、2017年に自動車向け駆動部品の金型製作を開始する。冷間鍛造により切削工程を省いて、比較的コストで金型を製作する計画。冷間鍛造の関連設備を導入することにも技術者の育成に取り組み、準備を進めている。自動車部品メーカーのニーズに対応して、新規受注を開拓する。

同社はこれまで、厚さ0.1〜2.3mmの薄板を中心としたプレス加工を展開してきた。新たに取り組む自動車向け駆動部品の金型製作では、小型部品の高精度加工技術を生かし、厚さ2〜6mmの高張力鋼材を加工する計画。本日から東へ約5000㎡離れた建屋を改装し、14年12月に新工場(敷地面積約1640平方メートル)を竣工させた。同社は15年7月から順次冷間鍛造の関連設備を新工場に導入し、技術者を育成して、新規事業の準備を進めている。業容拡大に伴い、新工場のスタッフを増員する方針。



北角真一社長



新工場に導入した冷間鍛造用の試作プレス機

新工場(敷地面積約1640平方メートル)を竣工させた。同社は15年7月から順次冷間鍛造の関連設備を新工場に導入し、技術者を育成して、新規事業の準備を進めている。業容拡大に伴い、新工場のスタッフを増員する方針。

**「活かにフルコースと甘えび食へ放**

中央トラベル(本社 豊橋市土橋町、林茂男社長、電話0565・28・12)は、毎年恒例の人気「活かにフルコースと甘えび食へ放」の予約を10月から受け付ける。12月から2017年3月にかけて、福井県越前市に日帰りツアーで出向く。今年昨年のパンフレットより100人増、40歳以上の年齢層が多くなる見込み。

**江戸から続く職人技披露**

おかざき匠の会が「匠まつり」を開催し、煙火製造所社長(2021の代表幹事)太田恒司(両日)、同市電業南の岡崎商工会議所一階大ホールで設立15周年記念イベント「江戸のふるさと匠まつり」を開催した。2日間で約600人が来場した。同会は石屋や三河仏壇、江戸時代から続く伝統産業に加え、地場産業の職人ら38種・55人が交流する勉強会。初日の開会式で、

## 岡崎市制100周年

地域を支える企業群

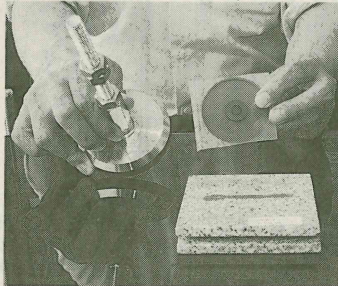
総合免震システムメーカーの安震(本社 岡崎市細川町、杉田規久男社長、電話0564・66・8228)は、企業の工場やオフィス向けに、地震対策用に開発した免震装置「安震アジャスター」の拡販に注力している。阪神淡路大震災、東日本大震災などをきっかけとして、建物の耐震化に取り組んでいる企業は多い。しかし、建物内部の機械、装置、設備の倒壊対策は遅れているとされている。



杉田規久男社長  
同装置の特長は、①工場の床などにボルト用の穴をあけず、簡単に短時間で

## 安震

安震アジャスターの治具(左)と安震ゲル。手前は右に施工したサンプル



短時間で簡単施工  
 地震対策用アジャスター 拡販

同社は、1828(文政11)年創業、石の採掘から加販まで手がける老舗の石材店。規久男社長は2003年に8代目に就任した。その後、大震災をきっかけに、墓石や石灯籠の地震対策に乗り出した。京都の延暦寺、清水寺など全国12万基以上の墓石などで採用されている。石材分野を縮小し、新規分野に特化するため、04年に同社を設立した。この数年は年間売上高1億円前後で推移し、まだ大きな受注案件はない。公的機関のアドバイスを受けて、自動車、食品、飲料、医薬品、機械など大手メーカーからの引き合いが着実に増えている。

同装置の特長は、①工場の床などにボルト用の穴をあけず、簡単に短時間で

(第三種郵便物認可)